

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和54年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第31卷 第6号

vol. 31 no. 6

物性研究

1979/3

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないような処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を**50部単位**で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

第11期*第1回物性小委員会議事録

日 時：1978年12月16日 13:30～16:40

場 所：東大物性研究所A棟6階輪講室

出席者：横田伊佐秋，豊沢豊，芳田奎，白鳥紀一，久保亮五，斎藤信彦，長岡洋介，森井宣治，畑徹，佐々木亘，中山正敏，山田宰，禅素英，勝木渥，達崎達，長谷田泰一郎，金森順次郎，伊達宗行，渡部三雄，真隅泰三（前期会計担当幹事）

I. 委員会構成

1. 委員長選出

第2回目の投票で伊達委員が過半数により委員長に選出された。

2. 幹事選出

伊達委員長より，金森（庶務担当），近（会計担当），中山（記録担当），3委員が幹事に指名され，了承された（当日欠席の近委員より，事後に就任の承諾を得た）。

3. 芳田物性研所長を所長職を以て物小委に加えることが確認された。物小委選出規定第4項により，物研連の物性関係委員を物小委委員として委嘱する必要性について検討した結果，今期は選出委員中に物研連委員が5名いるので委嘱しないこととなった。

II. 前期よりの引継事項

横田前委員長より，前期物小委の活動について報告があった。項目は下記の通り。

(1) 物性研究施設群の立案・推進

(2) 物性研短期研究会「物性研究将来計画」の開催

* 物性小委員会は日本学術会議物理学研究連絡委員会の下部機構であるので，同委員会の期数を付した。

第11期第1回物性小委員会議事録

- (3) 特定研究
- (4) 物性研究所将来計画
- (5) 技術調査委員会
- (6) 物小委選出規定の改正
- (7) 物性研究実情調査結果の発表

主な質疑、補足説明は次の通りである。

1. 特定研究

渡部：物小委はイニシアチブは取らないことになっているが、特定研究の募集を行ったのか。

横田：「提案を求める」という趣旨の文章を、委員長、幹事名で事務局報に2回出した。調査よりは募集に近かったと思う。

伊達：「イニシアチブを取らない」とは、「物性の制御」のように、物小委が中心となって企画することはしない、という意味だと思う。物性研究者に影響のある計画を知っておく必要があるので、文章を出した。

中山：具体的にどのような計画があり、審議されたか。

久保：53年度には、「原子過程科学の基礎」、「高速イオンビーム物性」、「乱れた系の固体物性」の3件が物研連に提案され、物研連から研究費委員会に推薦された。第1のものだけが学術会議から文部省に推薦され、最終的に採択され、54年度から出発することとなった。

佐々木：「乱れた系の固体物性」は、上記提案募集とは独立に計画した。1978年3月の物小委で説明し、支持を得た。

2. 技術調査委員会

畑：これはどのようなものか。

伊達：新物質開発、試料作製にもっと重点を置きたい、という職旨である。1978年3月の物小委で議論された。もう少し考え直して、今期も継続審議をお願いしたい。

3. 物性研究施設群

佐々木：1977年5月付のパンフレットの試案を物研連に提案し、現在検討中である。

久保：以下の問題点がある。

- (1) 巨大計画に対するアンチテーゼは必要だが物性に固有ではない。
- (2) 現在挙げられている具体例、界面物性（学習院大）、超低温（大阪市大）については、公私立大であることによる制度上の問題がある。
- (3) 国立大学では、この程度の研究設備は各大学から要求できる。
- (4) 他分野では、特定研究により拠点を作るという動きもある。また、科研費に特別推進研究（5千万円×3年程度）を発足させたいと、54年度予算に文部省から要求中である。

佐々木：他の問題点を挙げる。

- (1) 大学付置の場合、大学の自治と研究者の自治との矛盾の処置。
- (2) 期限満了後の施設、人員の処理。
- (3) 施設「群」を運営する評議会のあり方。

Ⅲ．審議事項

1. 国際交流について（長岡）

（提案趣旨） 基研の将来計画の一つとして、国際研究センター構想が論じられている。核研連も独自に国際交流センターを考えている。物性でも検討すべきである。

基研では、1978年に京都 summer institute を素粒子分野で開いた。費用は基研と山田財団が負担した。これを定期的に開催することを考えており、1979年は物性（低次元系）で開く構想がある。また、将来はアジアからの留学生受入れも考えられている。現在でも客員教授を年間に1名招く予算はついており、滞在費だけならさらに若干名分出せる。これらの運用の問題も含めて物小委で議論してもらいたい。

芳田：物性研も関心はある。客員教授も年1名の枠がある。御意見、御希望を聞きたい。

渡部：基研は現在将来計画を検討中である。これについても物小委でも議論してもらいたい。

この議題は継続審議となった。

2. 物小委財政について（横田）

（提案趣旨） 従来物小委諸経費は、科研費の物性関係総合研究班から好意により拠出していただいていたが、まかなって来た。この方式を再検討してもらいたい。

前期会計担当幹事真隅氏より、(1)各総合研究班との折衝の実情、(2)事務処理上の問題点、(3)現状では年 2 回の自力開催は困難、等の諸点が指摘された。若干の討論の後、次回に検討することになった。

3. 大学院生の研究旅費について（畑）

（提案趣旨）大学院生の学会出席等の研究旅費が公式に支出されるようにしたいが、問題点を知りたい。

各委員より、(1)科研費は謝金としてしか支出できない、(2)大学院学生経費の旅費振替には事務上の難点がある、(3)野外調査旅費については予算化へ向って進展がある、(4)基研、物性研の共同利用に際しては、研究嘱託に基づき正規に支出されている、との事情説明があった。

4. 雑件

(1) 斎藤物性グループ事務局長より、百人委員、物小委委員選挙について報告があった。なお、無効投票の判定について説明があり、了承された。

(2) 森井委員より、物研連の OD 問題検討委員会の活動状況について質問があった。久保委員より、学術会議内に検討委員会が設置された旨の回答があった。

(3) 久保委員より、科研費の動向について紹介があった。

(a) 最近、科研費の伸び率は経常研究費の伸び率をはるかに上回っている（別表参照）。

(b) 総合研究的なものよりは、奨励研究、目的研究（特定、特別、推進）に重点が置かれつつある。

(c) 応募件数の増加に伴ない事務処理が滞りつつある。

(4) 渡辺委員より、物小委委員の委嘱、委員会への出張依頼の主体がない、との指摘があった。

(5) 次回委員会は、物理学会年会の際に開く。

表 教官当積算校費、科研費の推移

年 度	45	50	53	
講 座	428.1	603.5	729.5	
教官当積算校費 (万円)	学科目制教授	98.3	156.5	189.0
	助教授	59.4	94.0	113.5
	助 手	16.2	24.5	29.5
	研 究 所 教 授	276.4	390.0	436.8
	助教授	172.8	244.0	273.4
	助 手	55.1	77.0	86.1
	科学研究費(億円)	70.62	163.9	258.6
成果刊行費	1.38	4.1	6.4	

ニュース

〔北海道大学理学部〕

○談話会

1月18日

「パルス中性子源による物性研究」

石川義和氏（東北大理）

〔東京大学理学部〕

D論 On the Recurrence of the KdV Equation with Periodic Boundary Condition
(Y. Okada)

修論 Study of Many-State Classical Spin Systems by the Renormalization Group,
Duality and Monte Carlo Simulation (Hidetoshi Nishimori)

修論 A Theory of Hard Disk Transition and Melting (Hikaru Kawamura)

修論 Renormalization group approach to first order phase transition (Terumi
Chikama)

修論 Study of Quantum Spin Systems Using Real Space Renormalization Trans-
formations (Hiroshi Takano)

〔東京大学物性研〕

○人のうごき

'78. 12月20日 中西一夫氏 イリノイ大へ

○談話会

1月22日

“光検波 ESR法の半導体物性への応用

——三重項励起子とドナー，アクセプター対”

森垣和夫氏（物性研）

○土曜セミナー

1月20日

“縮退半導体の超伝導機構”

高田康民氏（東大理）

[大阪大学理・基礎工学部]

○ セミナー

- 12月18日 「低次元格子磁性体の研究」
長谷田 泰一郎 氏 (阪大基礎工)
- 2月 5日 「宇宙空間の固体物質」
長谷川 博一 氏 (京大理)
- 2月13日 「Models of a Liquid Crystal」
Prof. E. Lieb (Univ. of Princeton)

○ 特別講義

- 2月2日～5日 「宇宙空間の固体物質」
長谷川 博一 氏 (京大理)

[岡山大学理学部]

物理学専攻 1977年度修士論文題目(物性関係)

(理論)

今枝 辰博: 2つの秩序状態をもつ spin-1 Ising 系の静的及び動的性質

清水 栄作: 臨界現象へのとり込み群を用いたアプローチ

永橋 仁郎: 鉄族金属の強磁性について

—— s-d 混成による d 電子の巡回性, 並びに局在モーメントのゆらぎによる有限温度の磁性 ——

常森 光治: 超イオン導電体 α -AgI の振動数依存電気伝導度

Masaaki Torigoe: Hydrogen Atom in a Superstrong Magnetic Field

舟橋 栄二: 原子の相対論的 1 電子エネルギー準位

—— 相対論的 Thomas-Fermi-potential を使った数値計算 ——

(実験)

Takashi Oka: Effects of Magnetic Fields on the Growth of Tumor Cells in Vivo and in Vitro

Michirō Kimura: Luminescent Properties of CaS: Cd²⁺ Phosphors

入川 理徳: Tonks-Dattner Resonances in Rare Gas Afterglow Plasma

Masaharu Okamura: Electrical Characteristics under Mechanical Stress on Metal-GaAs

ニュース

Schottky Diodes

Nobuaki Hiraoka : Piezoelectric Effect of Au-GaP Schottky Diode under Stress

1979 Kyoto Summer Institute

PHYSICS OF LOW DIMENSIONAL SYSTEMS

9月8-12日

主 催 京都大学基礎物理学研究所

講 師 福山秀敏(東大物性研), B. I. Halperin(ハーバード大), A. I. Larkin
(ランダウ研究所), L. J. Sham(UCSD), 鈴木増雄(東大)他。

内 容 2次元XY模型, 2次元超流動, 超伝導, 界面層の電子系, 準一次元系の
ピンニング効果, 一次元系の多電子問題 その他。

場 所 京都大学

組織委員 長岡洋介, 中嶋貞雄, 村尾剛, 恒藤敏彦, 福山秀敏

〆切り 5月末日

参加希望の方は基研 長岡洋介 まで御申し込み下さい。滞在費援助希望の人は明記して下さい。70名程度の参加者を予定しています。

プレプリント案内

[東北大学・桂研究室]

Michael E. Fisher and Stephane Sarbach

Nonuniversality of tricritical behavior.

G. Grinstein, C. Jayaprakash, Michael Wortis

Frustrated Ising magnets: zero-temperature properties from series expansions.

Takao Ichimura, Tadahiko Shiotani and Akira Ueda

Monte Carlo studies of lattice models

—LJD lattice, Fine-grained lattices and continuum—

L. N. Bulaevskii

On the susceptibility and knight shift in one-dimensional spin systems with isotropic random antiferromagnetic interaction.

W. Klein, H. Eugene, Peter J. Reynolds, and A. Coniglio

Renormalization group approach to the percolation properties of the triangular lattice gas.

A. J. Bray and M. A. Moore

Replica symmetry and spin glasses II non-Ising spins.

Mamoru Yamashita and Hugio Nakano

Phase separations accompanied by magnetic ordering in binary mixture of paramagnetic.

Minoru Takahashi

Single band Hubbard model with infinite repulsion on $2 \times 2 \times 2$ lattice.

S. Hikami and E. Brezin

Large order behaviour on the $1/N$ expansion in zero and one dimensions.

Yoseph Impy, Michael Wortis

Influence of quenched impurities on first-order phase transitions.

プレプリント案内

A. J. Bray and M. A. Moore

Massless modes in spin glasses.

Y. Kuramoto

Long-wavelength excitations in the Wigner crystal in strong magnetic fields.

H. Falk and W. J. Ventevogel

Random mapping based on a genetic model.

Michiyoshi Oku and Yutaka Okabe

$1/n$ expansion up to order $1/n^2$. IV

—Critical amplitude ratio R_x —

Gunduz Caginalp and Michael E. Fisher

Wall and boundary free energies II.

General domains and complete boundaries.

Fumiaki Shibata and Motoko Asou

Critical phenomena in the two-dimensional random Ising system I.

Motoko Asou and Fumiaki Shibata

Critical phenomena in the two-dimensional random Ising system II.

Hironobu Ikeda, Masatsugu Suzuki and Michael T. Hutchings

Neutron scattering investigation of static critical phenomena in the two-dimensional anti-ferromagnetic.: $\text{Rb}_2\text{Co}_c\text{M}_c\text{Mgl}_c\text{F}_4$

A. R. McGurn and M. F. Thorpe

A bond diluted Ising ferromagnet with first and second neighbor interactions.

M. F. Thorpe

Restriected annealing of random Ising models.

Yukio Okwamoto, Hajime Takayama and Hiroyuki Shiba

Incommensurate-commensurate crossover in generalized one-dimensional Ginzburg-Landau fields.

Toyoaki Naitoh and Syu Ono

The shear viscosity of 500 hard-spheres via non-equilibrium molecular dynamics.

Mamoru Yamashita, Huzio Nakano and Shigeo Homma

Effect of orientational ordering in solid hydrogen at low ortho concentration.

D. J. Thouless, P. W. Anderson, E. Lieb and R. G. Palmer

Solution of "solvable model of a spin glass".

J. L. van Hemmen and R. G. Palmer

The replica method and a solvable spin glass model.

Takashi Karasudani, Katsuhiko Nagano, Hisao Okamoto, Hazime Hori

A new continued-fraction representation of the time-correlation functions of transports fluxes.

D. L. Hunter and George A. Baker, Jr.

Methods of series analysis, III: Integral approximate methods.

L. Bevaart, E. Frikkie and L. J. de Jongh

A Neutron scattering study of magnetic field induced transitions in a 2-component anti-ferromagnetic system with competing spin-anisotropies.

Antonio Coniglio, H. Eugene Stanley and W. Klein

A statistical mechanics theory of polymer gelation.

Leo P. Kadanoff

Lattice coulomb gas representations of two dimensional problems.

Leo P. Kadanoff

Multicritical behavior at the Kosterlitz-Thouless critical point.

Toshio Tsuzuki

A derivation of the Tomonaga-Luttinger model by the Coarse-Graining operation.

P. W. Kasteleyn and R. J. Boel

Extremal A -inequalities for Ising models with pair interactions.

プレプリント案内

J. Chalupa, P. L. Leath and G. R. Reech

Bootstrap percolation on a Bethe lattice.

Takehiko Oguchi and Yohtaro Ueno

Statistical theory of the random ordered phase in the site model.

K. Katsumata and M. Kobayashi

Experimental phase diagram of a random mixture of two anisotropic antiferromagnets.

Makoto Kobayashi, Koichi Katsumata, Toshikazu Sato and Yoshihito Miyako

Specific heat measurement on a random mixture of two antiferromagnets with competing anisotropies.

Alan J. Bray

Maximum below T_c in the energy density fluctuations at fixed wavevector.

E. Pytte and Joseph Rudnick

Scaling, equation of state and the instability of the spin glass phase.

G. Grinstein, P. Minnhagen and A. Rosengren

Bosenization without bosons in the one-dimensional electron gas.

Shmuel Fishman and Amnon Aharony

Phase diagrams and multicritical points in randomly mixed magnets, II. Ferromagnet-antiferromagnet alloys.

Shmuel Fishman and Aharony

Phase diagrams and multicritical point in randomly mixed magnets, I. Mixed anisotropies.

Y. Yamazaki, H. J. Hilhorst

Differential real-space renormalization of the two-dimensional Gaussian model.

Hiroyuki Shiba

The nonregistered-registered phase transition of rare gas monolayers adsorbed on graphite.

Mamuro Yamashita

Phase transition in the three state Potts-Kihara model.

Tohre Ogawa

Cluster approximation for an $\infty \times \infty$ -determinant.

M. Kasaya, J.M. Trascon, J. Etournear and R. Hagenmuller
Study of carbon-substituted EuB_6 .

M. Kasaya, J.M. Trascon, J. Etournear and P. Hagenmuller
Effects of carbon on the magnetism of EuB_6 .

G. Eiselt, J. Kötzler, H. Maletta, D. Stauffer and K. Binder
Magnetic "blocking" in very dilute $(\text{Eu}_x\text{Sr}_{1-x})\text{S}$: Experiment versus theory.

K. Binder and D. Stauffer
Monte Carlo studies of systems with disorder.

[東京大学・理学部・物理・久保研究室]

- (222) 5. P. Szepfalusy and T. Tel
The Dynamic Renormalization Group in the Large n Limit
- (223) 5. Hiroo Totsuji
Lower Bounds for Thermodynamic Quantities of d -dimensional Classical One-component Plasmas with d -dimensional Coulomb Interaction ($d = 1, 2, \text{ and } 3$)
- (224) 5. Hiroo Totsuji
Lower Bounds for Thermodynamic Quantities of Two- and Three-Dimensional One-Component Plasmas
- (225) 5. Hiroo Totsuji
Cluster Expansion for Two-Dimensional Electron Liquids
- (226) 5. P. Agrawal, S. Redner, P. J. Reynolds and H. E. Stanley
Site-Bond Percolation: A low-density series study of the uncorrelated limit
- (227) 5. Kiyoshi Kawamura and Yugo Yoshida
Scattering of Tight-Binding Electrons off Screw Dislocations. II. — Analysis of Numerical Solution and Study of Influence of an Isolated Dislocation.
- (228) 8. I. Tüttö and J. Ruvalds
Transport Relaxation Time and Electron-phonon Interactions in Metals

プレプリント案内

- (229) 8. J. Ruvalds and L. M. Kahn
Superconductivity in A-15 Compounds
- (230) 8. I. Tüttö and J. Ruvalds
Tunneling Spectra of High Temperature Superconductors
- (231) 16. Kinshiro Hirakawa and Hideki Yoshizawa
Observation of Bose Condensation of Magnons in the Quasi-Two-Dimensional Planer Ferromagnet K_2CuF_4
- (232) 16. Harold Grad
Survey of $1\frac{1}{2}D$ Transport Codes
- (233) 23. D. Bessis, P. Moussa and G. Turchetti
Subdominant Critical Indices for the Ferromagnetic Susceptibility of the Spin One-half Ising Model
- (234) 23. M. H. Ernst and E. M. Hendriks
An Exactly Solvable Non-linear Boltzmann Equation
- (235) 25. P. Ruján
Variational Method for Lattice Systems: General Formalism and Application to the Two-dimensional Ising Model in an External Field
- (236) 26. Robijn Bruinsma and Kazumi Maki
Soliton Lattice in Superfluid ^3He-A
- (237) 26. Y. R. Lin-Liu, Dieter Vollhardt and Kazumi Maki
Helical Textures in ^3He-A and Magnetic Resonance
- (238) 29. Fusayoshi J. Ohkawa
Multi-Valley Effective Mass Theory
- (239) 29. Fusayoshi J. Ohkawa
Theory of Shallow Donor States in Silicon: I. Substitutional Donors
- (240) 29. B. U. Felderhof
Fluctuation Theorems for Dielectrics
- (241) 29. T. F. Meister and B. U. Felderhof
Current Density and Electric and Magnetic Multipole Moment Operators in Quantummechanics

- (242) 29. T. F. Meister and B. U. Felderhof
Frequency-dependent Electric and Magnetic Multipole Moments and Siegert's
Theorem
- (243) 29. M. J. Rice
Toward the Experimental Determination of the Fundamental Microscopic Para-
meters of Organic Ion-Radical Compounds

研究会出席者公募

研究会出席者公募

下記のような趣旨で5月下旬又は6月上旬に基研短期研究会を行います。研究会に出席御希望の方は5月10日迄に基研長岡又は米沢宛に申し込んで下さい（講演希望者はタイトルと時間もお知らせ下さい。予算の都合で全ての方に旅費をさしあげられないと思いますので、その点御了承下さい。

掲 示 板

昭和 54 年度研究計画・アトム型研究員第 2 回募集

京都大学基礎物理学研究所長

佐 藤 文 隆

昭和 54 年度の基研研究計画及びアトム型研究員の第 2 回募集を下記の通り行います。長期・短期・モレキュール型研究計画の外に、従来の枠にとられない新しい研究計画の応募も歓迎致します。

記

1. 募 集 内 容 長期・短期・モレキュール型研究計画については、昭和54年8月から昭和55年3月までに実施の提案。アトム型研究員については、昭和54年8月から昭和55年3月までの間の計画。それぞれの内容は別紙参照（必要な場合には基研共同利用事務室へお問い合わせ下さい。）
なお、本年度も短期研究計画及びアトム型研究員の第3回募集を行いませんので御注意ください。
2. 締 切 昭和54年5月31日（木）（必着）
3. 宛 究 京都市左京区北白川追分町（〒606）
京都大学基礎物理学研究所
共同利用事務室
電話 075（751）2111（代）（内線）7008
4. 応募の際はA4判の「青焼き」コピーが容易なように薄手の用紙に黒のボールペン又は黒インクで御記入の上、封筒の表に研究計画又はアトム型研究員応募と明記して

掲示板

お送り下さい。

5. 基礎物理学研究所研究部員会議及び運営委員会（昭和54年6月末頃の予定）で審議決定します。

別 紙

A 研究計画

長期研究計画（あるテーマについて数か月から1年にわたって連絡をとりつつ研究を行うもので、普通年1～2回研究会を行っている。）

短期研究計画（あるテーマについて数日間研究会を行う。）

モレキュール型研究計画

（数人が随時連絡をとりつつ研究する。）

イ) 研究テーマとその内容

応募書類はあらかじめ研究部員に配っておき、研究部員会議で充分討議致しますので、主旨及び問題点を具体的に書いて下さい。

ロ) 世話人及び提案説明者

世話人として主な研究計画立案者を二人以上あげ、その中の一人を連絡責任者として指定して下さい。基研研究部員会議で提案の説明をしていただきますので提案説明者を決めて下さい。基研研究部員が参加者にいる場合はなるべく研究部員が提案説明にあたって下さい。

ハ) 研究会及びその他の会合の開催希望時期及び日数

ニ) 研究会及びその他の会合に参加する研究者の予定数

ホ) 旅費及び校費の必要額（項目別に明記して下さい。）

B アトム型研究員

アトム型研究員は大学院生を含む研究者を対象とし、個人がある期間、当研究所に滞在して研究を続けていただくものです。

但し、特別の事情がある場合には当研究所以外を研究場所とする計画も認めております。これについての詳細は第54回研究部員会議議事録（1971年11月）22頁，“地方大学の研究条件の改善について”をごらん下さい。

イ) 所属・身分及び連絡先

ロ) 研究テーマとその内容

計画の内容、応募の目的をなるべく具体的に御記入下さい。他の研究計画と関

掲示板

連させて申し込まれる場合は、その旨明記して下さい。

ハ) 滞在希望時期及び期間

滞在期間は(A) 1か月程度(場合によっては2週間程度でもよい。)又は(B) 2～3か月程度(年間4～5人)の2種類とします。応募の際はA又はBのどちらの種類を希望するかを明記して下さい。応募者が一時期に集中し、基研の収容能力をこえる場合は、一部時期の変更をお願いすることもあります。(昭和53年度の利用者は滞在1か月17人、3週間4人、2週間4人でした。)

C 新しい型の研究計画

従来の研究計画の枠にとらわれない計画も歓迎しております。

基 研 研 究 部 員 会 議 議 題 募 集

来る昭和54年6月末頃に基研の研究部員会議が行われる予定ですので、議題がございましたら提案趣旨とともに昭和54年5月31日(木)必着で下記にお申し込み下さい。

〒606

京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

研究部員会議議長団

掲示板

連させて申し込まれる場合は、その旨明記して下さい。

ハ) 滞在希望時期及び期間

滞在期間は(A) 1か月程度(場合によっては2週間程度でもよい。)又は(B) 2～3か月程度(年間4～5人)の2種類とします。応募の際はA又はBのどちらの種類を希望するかを明記して下さい。応募者が一時期に集中し、基研の収容能力をこえる場合は、一部時期の変更をお願いすることもあります。(昭和53年度の利用者は滞在1か月17人、3週間4人、2週間4人でした。)

C 新しい型の研究計画

従来の研究計画の枠にとらわれない計画も歓迎しております。

基 研 研 究 部 員 会 議 議 題 募 集

来る昭和54年6月末頃に基研の研究部員会議が行われる予定ですので、議題がございましたら提案趣旨とともに昭和54年5月31日(木)必着で下記にお申し込み下さい。

〒606

京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

研究部員会議議長団

編 集 後 記

今年は2月というのにもう4月並のお天気で、冬がなかったような印象があります。新聞では京都市内のある所でもう桜が満開に近いというニュースがあり、驚かされます。このところ昭和堂印刷の協力で、発刊の遅れが解消に向かっており、本誌も速報性に満ちたものに一足とびに戻るのではと楽しみにしております。

(T. T.)

物 性 研 究

第 31 卷 第 6 号
1979年3月20日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL(441)1659(431)4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

編 集 後 記

今年は2月というのにもう4月並のお天気で、冬がなかったような印象があります。新聞では京都市内のある所でもう桜が満開に近いというニュースがあり、驚かされます。このところ昭和堂印刷の協力で、発刊の遅れが解消に向かっており、本誌も速報性に満ちたものに一足とびに戻るのではと楽しみにしております。

(T. T.)

物 性 研 究

第 31 卷 第 6 号
1979年3月20日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL(441) 1659 (431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊730円、1 Vol. 4,380円、年間8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 31-6 (3月号) 目 次

- 指数関数ポテンシャルをもつバネで繋がれた
一次元N粒子系——逆スペクトル法による一般解(1)……山崎 進…… 299

- A-15化合物のマルテンサイト変態と超伝導転移………松下栄子…… 313

- 講義ノート
量子固体Ⅲ………長岡洋介…… 327

- 物性小委員会議事録(第11期第1回) …… 339

- ニュース……… 344

- プレプリント案内……… 347

- 掲示板
昭和54年度研究計画・アトム型研究員第2回募集……… 355

基研研究部員会議議題募集……… 358

- 編集後記……… 359

物 性 研 究 31-6 (3月号) 目 次

- 指数関数ポテンシャルをもつバネで繋がれた
一次元N粒子系——逆スペクトル法による一般解(1)……山崎 進…… 299

- A-15化合物のマルテンサイト変態と超伝導転移………松下栄子…… 313

- 講義ノート
量子固体Ⅲ………長岡洋介…… 327

- 物性小委員会議事録(第11期第1回) …… 339

- ニュース……… 344

- プレプリント案内……… 347

- 掲示板
昭和54年度研究計画・アトム型研究員第2回募集……… 355

基研研究部員会議議題募集……… 358

- 編集後記……… 359